

Sumitomo Dental Clinic News Letter 2018年9月号

堺市北区蔵前町3-2-8 サンロード蔵前104

☎072-250-3117

住友歯科医院

検索🔍



こんにちは！住友歯科医院 院長の住友 敏彦です。

気がつけば9月、すっかり秋模様ですね。

味覚の秋、食欲の秋です。

美味しいものを美味しくいただき、大地の恵みに感謝するとともに、

今年も残り4ヶ月、全力で頑張っていきましょう。

お口のことでお困りごとがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

■ごあいさつ

いつも住友歯科医院においでいただきありがとうございます。

全国各地で大雨をもたらした梅雨前線の活動が収まるや否や、今度は全国各地で猛暑が襲いかかってきました。所によっては最高気温 38度を記録しており、「日本は温帯ではなく亜熱帯になったのでは？」という冗談も、あながち間違いではないような気がします。

暦の上ではすっかり秋ですが、この暑さがいつまで続くのか本当に心配です。どうぞご自愛の上お過ごしください。

■不夜城・香港紀行

夏休みを利用し、三泊四日の予定で香港に行ってきました。

仕事で世界中を飛び回っていた奥さんのおかげで、どこに行っても言葉で不自由することもなく、定番の観光地から、熟練旅行者が足繁く通うツウなスポットまで、子ども達と一緒に、いつも楽しませてもらっています。



さて、中国大陸の中で、約150年間英国の統治下にあった香港。アヘン戦争終結後、この街は数奇な歩みを経て、1997年7月1日、中国に一括返還されました。

時を経て今なお、アジアと欧米の文化の混ざり合うエネルギッシュな香港は、何度でも訪れたい魅力が満載でした。



↑いかにも「香港」な景観ですが、昼と夜とは街の雰囲気ガラリと変わります。その違いを楽しむのも旅の醍醐味の一つです。



→『黄大仙祠 (ウオンタイシンチ)』／香港では最も有名かつ定番のパワースポットとして有名な寺院。老若男女問わず多くの人が祈りを捧げに訪れていました。患者様やスタッフの幸せをお祈りしてきました。

←『1881Heritage』／九龍の新しい観光名所。中央にそびえるコロニアル建築が美しい建物は、100年以上の長期に渡り使用していた『香港警隊前水警総部』で、1994年に香港の建築物文化遺産として認定。英国植民地時代を彷彿とさせる貫禄を放っています。



↑『香港ディズニーランド』／世界で最も小さなディズニーランド。東京と違い、回りやすかったです。

日本人ならビザ無しで90日間の滞在が可能。コンパクトな街なので2～3日で主な観光地を回ることができます。何より、他の海外都市と比べると比較的治安が良く、安全な街と言えます。

滞在中の食事は中華料理が中心。味付けや調理法など、食べ慣れた日本食の方がいいなあと改めて思いました。海外に行つてこそ分かる日本の良さですね。

住友歯科医院 住友 敏彦



↑香港島と九龍半島の間にある『ビクトリア・ハーバー』にて、毎晩十数分間開催されるギネス認定の光と音楽のショー「シンフォニー・オブ・ライツ」を鑑賞。



住友院長のおもしろこぼればなし

Hot Break Times



住友歯科医院
Topics

お子様の定期検診のススメ

より快適に、もっと歯周病を治すために住友歯科医院で取り組んでいること。

今回は「小児歯科検診」についてお話をさせていただきます。

お子様の検診をおすすめします

毎日の生活リズムも、学校に通っている時とあまり変わらないように気をつけてはいますが、ついダラダラとしがちなご家庭も多いのではないのでしょうか。

お口の健康は、全身の健康につながっています。不具合、不調なお口のまま放っておくと、食欲が減退したりします。

毎日のお手入れも疎かになりがちで、少しずつむし歯菌が繁殖し、歯を溶かしていきます。

長期の休みは特に生活リズムが変わったり、間食が増えたり、夜ふかしが多くなったりと、むし歯菌が繁殖しやすい時期です。

部活動や勉強などで忙しい毎日とは思いますが、お時間を見つけてかかりつけ医に検診していただくことをお勧めします。

いろいろな予防処置があります

お子さんがむし歯になりやすい歯の溝を、むし歯になりにくいようにコーティングする「シーラント」や、歯の表面に塗って歯を強くする「フッ素」、歯に付いている汚れ

を落とす「クリーニング」といった予防処置もご紹介します。

私は出来ることなら、お子さんたちにはむし歯の痛みを経験してほしくないと思っておりますし、「我が子はむし歯で苦しんでほしくない」と仰る親御様のお気持ちが痛いほどよくわかります。

お子さんたちにもこの機会に、ご自分のお口に興味を持っていただけたら嬉しいです。どうぞ、お気軽にお問合せください。



思い出写真館とめぐる Dr.Toshihiko's Essay

「ありがとうの敬意を込めて」

9月の第3月曜日は、長い間社会に貢献したおじいちゃん、おばあちゃんの働きや、知識を敬い、長生きに感謝してお祝いする「敬老の日」ですね。1951年に「年寄りの日」とさだめられましたが、その後「老人の日」となり、1965年に今の「敬老の日」となり、国民の祝日になりました。

西アフリカのギニアでは『ひとりの老人が死ぬことは、ひとつの図書館が燃えてなくなることと同じだ』と言う格言があります。日本と同じく、長く生きた人の知恵と経験を大切に作る国なんですね。人生の先輩である私よりも年配の方には、ご自分のお子さんだけでなく、お孫さん、ひ孫さんともっともっと健康で長生きしていただき、私にも教えをいただけたらと思っています。

私にとって幸せなことは、まだ親が元気であるということです。親孝行といってもなにをしたらいいのかわかりませんが、少しでも人のお役に立てる仕事をし、自分が元気で頑張っている姿を見せられることが親孝行になるのかな、と思っております。私自身親になり、親の気持ちやありがたさが少しずつわかるようになりました。

